

公開実用平成 4-83031

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U) 平4-83031

⑬ Int. Cl.³
A 47 B 67/02

識別記号 庁内整理番号
8915-3K

⑭ 公開 平成4年(1992)7月20日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 頁)

⑮ 考案の名称 ミラーキャビネット

⑯ 実 願 平2-128265

⑰ 出 願 平2(1990)11月30日

⑱ 考 案 者 磯 野 直 樹 東京都渋谷区代々木3丁目25番3号 サンウェーブ工業株式会社内

⑲ 考 案 者 山 下 信 彦 東京都渋谷区代々木3丁目25番3号 サンウェーブ工業株式会社内

⑳ 出 願 人 サンウェーブ工業株式会社 東京都渋谷区代々木3丁目25番3号

㉑ 代 理 人 弁理士 山口 哲夫

明 細 書

1. 考案の名称

ミラーキャビネット

2. 実用新案登録請求の範囲

主鏡が取り付けられた基板と、この基板の側方に配設された副鏡を有する副基板と、一端部が上記基板に軸支され他端部が上記副基板を回転自在に軸支するヒンジアーム体と、から構成されてなり、上記副基板の副鏡が取り付けられた面部とは反対の面部に、収納棚を形成したことを特徴とするミラーキャビネット。

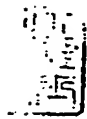
3. 考案の詳細な説明

(産業上の利用分野)

この考案は、副鏡を手前側に引き出して二面鏡として使用することができ、かつ、副鏡を使用しないときには反転して化粧品等を収納することができるミラーキャビネットに関する。

(従来技術とその課題)

従来、主鏡の側方に副鏡を配設し、この副鏡をヒンジアーム等で連結して手前側へと引き寄せ、



上記主鏡と副鏡とで二面鏡を形成できるように構成したミラー装置が、例えば、特公平 1—20889 号公報等で知られている。

しかしながら、上記従来のミラー装置にあっては、副鏡を収納キャビネットの蓋体の前面側に取り付けられているものが多く、副鏡と化粧品等の小物類を収納する収納部とが別体に構成され、かつ、副鏡が手前側に突出した状態で配設されるため、例えば、洗面化粧台の天板を広く使用することができないと共に、小物類を出し入れする度に蓋体を開閉しなければならず使い勝手が悪い、という問題を有していた。

この考案は、かかる現状に鑑み創案されたものであって、その目的とするところは、主鏡と副鏡とで二面鏡を形成できることは勿論、小物類の出し入れを容易に行うことができるミラーキャビネットを提供しようとするものである。

(課題を解決するための手段)

上記目的を達成するため、この考案にあっては、ミラーキャビネットを、主鏡が取り付けられ



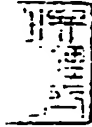
た基板と、この基板の側方に配設された副鏡を有する副基板と、一端部が上記基板に軸支され他端部が上記副基板を回転自在に軸支するヒンジアーム体と、で構成し、上記副基板の副鏡が取り付けられた面部とは反対の面部に、収納棚を形成したことを特徴とするものである。

(実施例)

以下、添付図面に示す一実施例に基き、この考案を詳細に説明する。

第1図と第2図に示すように、この実施例に係るミラーキャビネット1は、前面側に主鏡2が固着された基板3と、この基板3の側方に配設された副鏡4を有する副基板5と、一端部が上記基板3に軸支され他端部が上記副基板5を回転自在に軸支するヒンジアーム体10と、から構成されている。

基板3は、例えば、洗面化粧台の天板の奥行側上部に位置するように固着され、その下端部には、石鹸等を載置することができる石鹸置き6や歯ブラシ立て7が着脱自在に係止されている。



また、主鏡 2 よりも細長く形成された副鏡 4 が固着されてなる副基板 5 の鏡取付面部 5 a とは反対の棚取付面部 5 b には、複数の収納棚 2 0 が着脱自在に係止されている。

この収納棚 2 0 は、第 3 図と第 4 図に示すように、平面形状が半円状に形成され、かつ、縦断面形状が略凹状に形成された本体部 2 1 と、この本体部 2 1 の背部両側に突設された逆 L 字状の係止片部 2 2 と、上記本体部 2 1 の平面部に開設された線状の脱落防止体 2 3 を嵌合係止する係止孔 2 4 と、から構成されている。

このように形成された収納棚 2 0 は、図示はしないが、副基板 5 の棚取付面部 5 b に形成された縦断面凹状に形成された係止段部に、上記係止片部 2 2 が差し込まれ係止されることで、上記副基板 5 の棚取付面部 5 b に保持されるように構成されている。

ヒンジアーム体 1 0 は、第 1 図と第 2 図に示すように、基板 3 及び副基板 5 の上下辺部に配設され、かつ、一端部が上記基板 3 に軸支され他端部



が上記副基板 5 を回転自在に軸支する水平アーム部 1 1 , 1 1 と、この上下に配設された水平アーム部 1 1 , 1 1 の中心部を連結する垂直アーム部 1 2 と、から構成されている。

水平アーム部 1 1 , 1 1 は、第 5 図及び第 6 図に示すように、上記基板 3 にビス止め固定された支持部材 1 3 に軸着されてなる軸 1 4 を介してその一端部 1 1 a が回転自在に軸支されている。

また、上記副基板 5 には、軸 1 6 を軸支する支持部材 1 5 がビス止め固定され、該副基板 5 は、水平アーム部 1 1 , 1 1 の他端部 1 1 b に軸着された上記軸 1 6 に回転自在に軸支されている。

勿論、このヒンジアーム体 1 0 は、水平アーム部 1 1 , 1 1 の支持強度が大きい場合には上記垂直アーム部 1 2 を省略して水平アーム部 1 1 , 1 1 のみで副基板 5 を回転自在に軸支してもよく、また、ヒンジアーム体 1 0 を第 7 図と第 8 図に示すように構成することもできる。

即ち、第 7 図と第 8 図に示すヒンジアーム体 1 0 は、前記支持部材 1 5 の固着辺部 1 5 a を円

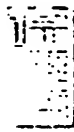


板状に形成し、この円板状に形成された固着辺部 15 a の上面に、所定間隔毎に半円状の凹部 15 b を形成すると共に、上記水平アーム部 11、11 の他端部 11 b の下面に、コイルスプリング 17 で付勢されたベアリング 18 を取り付け、該ベアリング 18 が上記凹部 15 b と嵌合することで、上記副基板 5 の回転位置を位置決めできるように構成した他は、他の構成及び作用は、前記実施例と同様であるので、その詳細な説明をここでは省略する。

次に、上記のように構成されてなるミラーキャビネット 1 の使用態様を、第 9 図に基き説明する。

副鏡 4 を使用しない場合には、第 9 図 (A) に示すように、収納棚 20 が、例えば、洗面化粧台の手前側に向いた状態となるように副基板 5 を基板 3 と直線状にセットする。これにより、収納棚 20 に載置された化粧品等の小物類を容易に出し入れすることができる。

この状態から、副基板 5 を手前側に引き寄せる



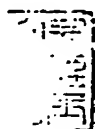
と、第9図(B)に示すように、副基板5はヒンジアーム体10を介して回動し、収納棚20が洗面化粧台などの手前側にセットされる。

かかる状態から、前記軸16を支点として上記副基板5を回動させ、第9図(C)に示すように、副鏡4が主鏡2と直角或は所望角度にセットすることで二面鏡を容易に形成することができる。

尚、この考案において上記収納棚20は、図示の実施例で示す形状に限定されるものではなく、また、収納棚を上記副基板5の棚取付面部5bと一体に突設させて形成してもよい。

(考案の効果)

この考案に係るミラーキャビネットは、以上説明したように、ヒンジアーム体を介して副鏡を移動自在に構成したので、主鏡と副鏡とで二面鏡を容易に形成できると共に、副鏡を手前側に引き寄せることで、真近かな位置で化粧や髭そりなどを行うことができ、しかも、副鏡を使用しない場合には、副基板を回転させて収納棚が手前側にくる



ようにセットすることで、小物類の出し入れを容易に行うことができる、という優れた効果を奏する。

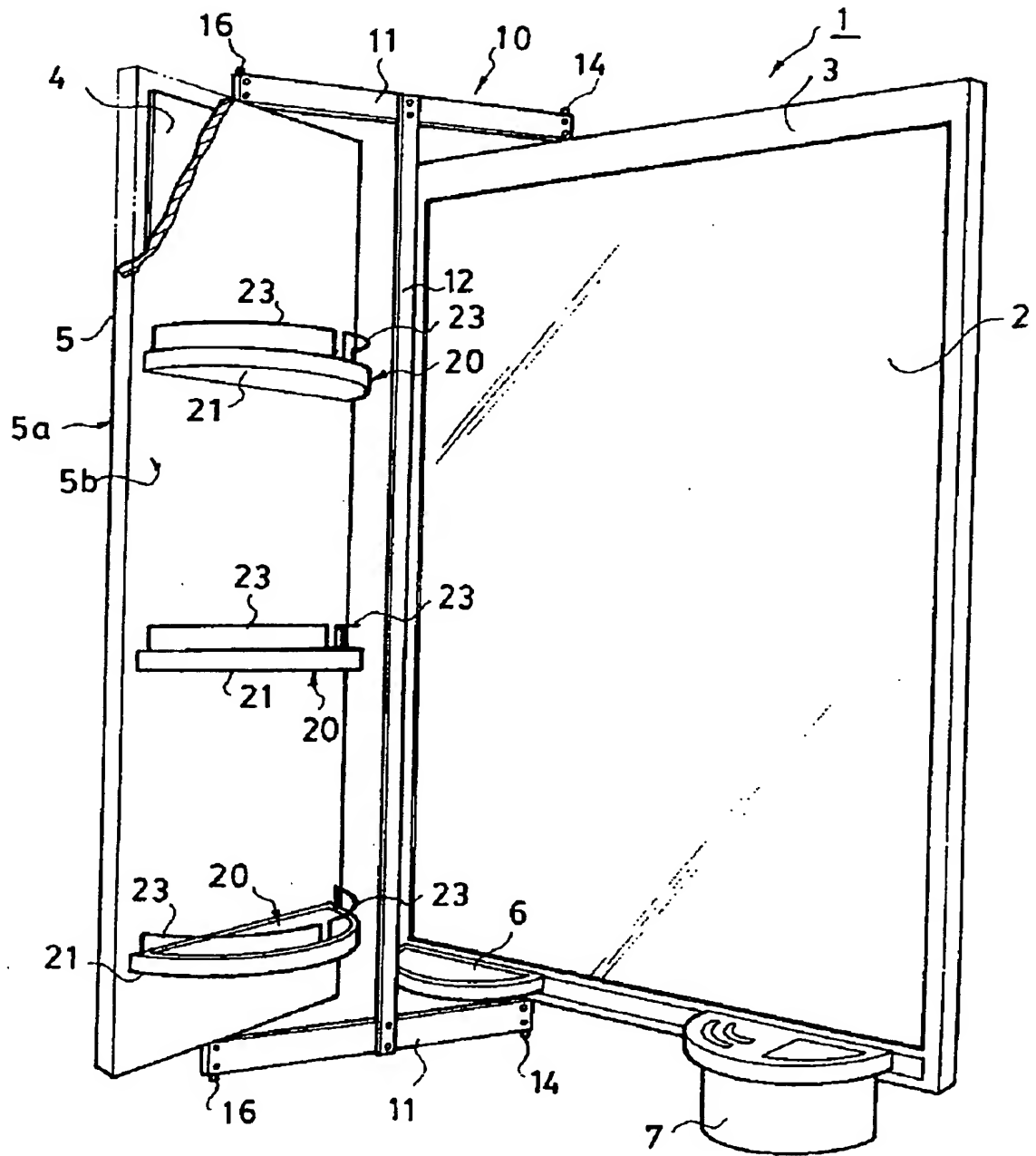
4. 図面の簡単な説明

第1図はこの考案の一実施例に係るミラーキャビネットを示す斜視図、第2図は同ミラーキャビネットの正面図、第3図は収納棚の平面図、第4図は同収納棚の正面図、第5図はヒンジアーム体の構成を一部切断して示す平面図、第6図は同ヒンジアーム体の正面図、第7図はヒンジアーム体の他の構成例を一部切断して示す平面図、第8図は同ヒンジアーム体の正面図、第9図（A）乃至（C）は基板と副基板の配置位置の変動状態を示す平面図である。

（符号の説明）

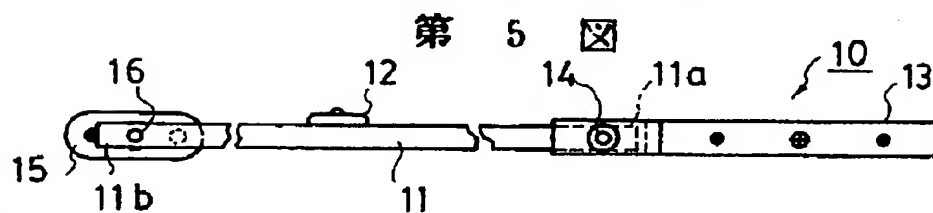
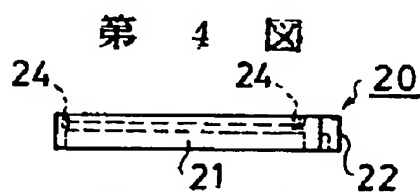
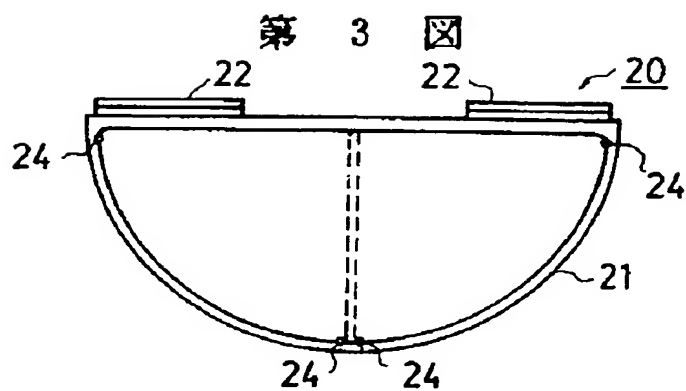
- | | |
|---------------|--------------|
| 1 … ミラーキャビネット | 2 … 主鏡 |
| 3 … 基板 | 4 … 副鏡 |
| 5 … 副基板 | 5 a … 副鏡取付面部 |
| 5 b … 棚取付面部 | 10 … ヒンジアーム体 |
| 20 … 収納棚 | |

第 1 図

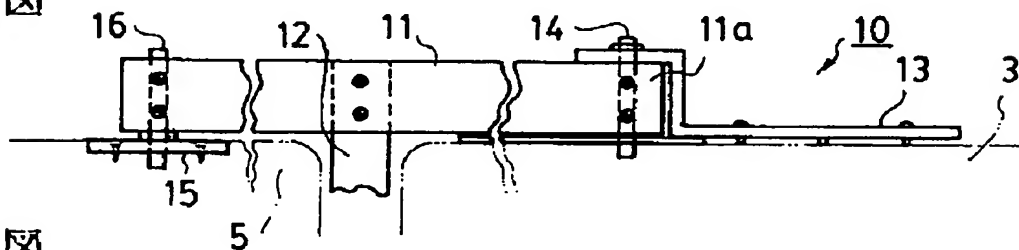


372

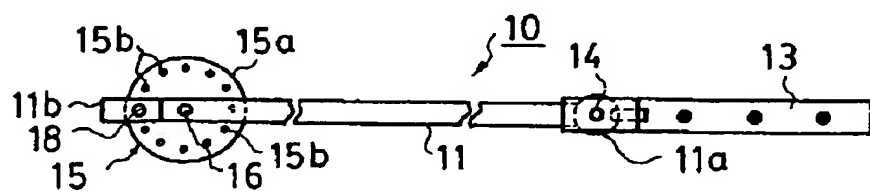
実開 4-50061



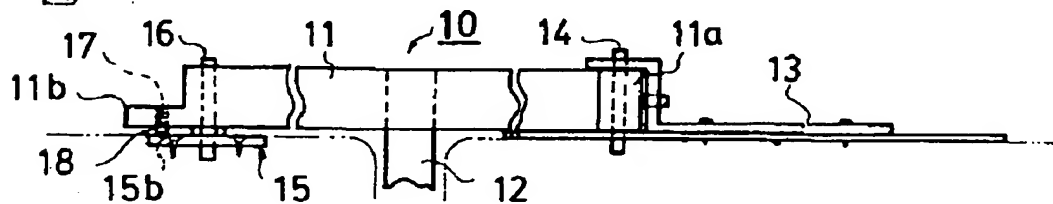
第 6 図



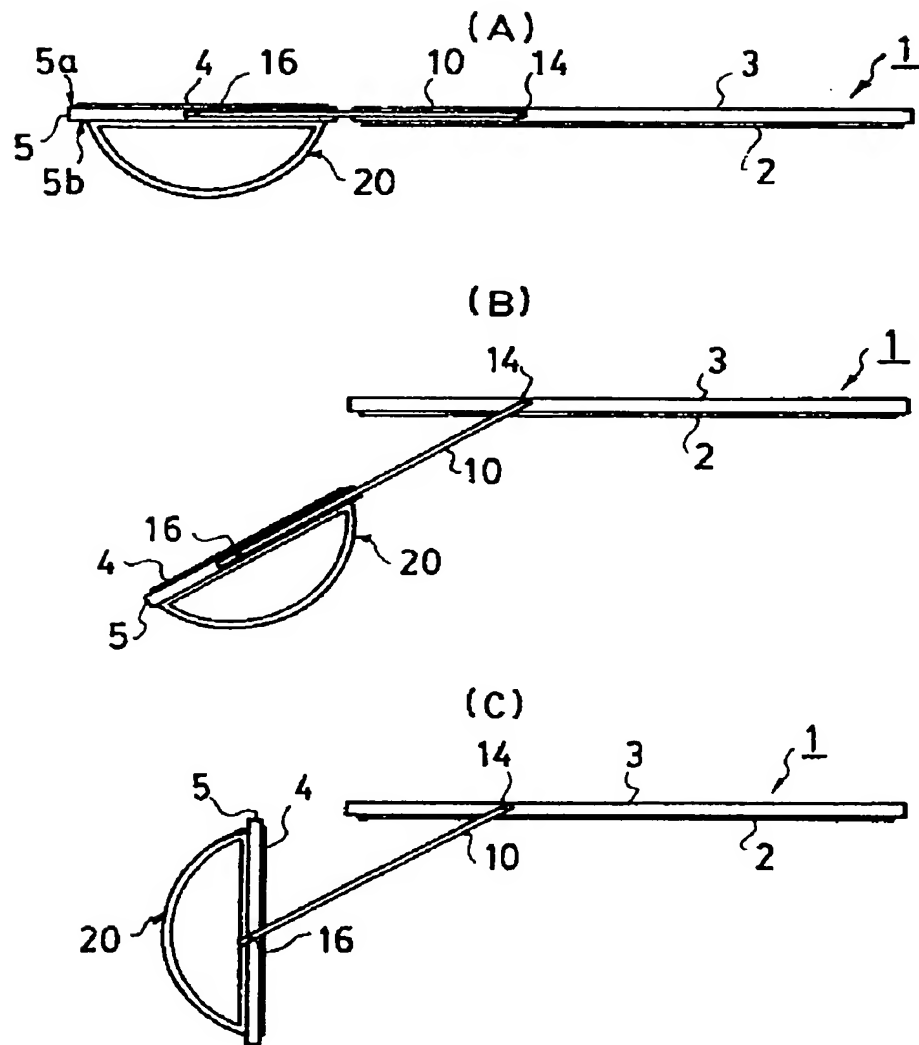
第 7 図



第 8 図



第 9 図



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☒ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.